

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は増加している。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 持ち直し

3月の公共工事請負金額は、国、都道府県、市町村、独立行政法人等のいずれも増加したため、全体では8か月連続で前年を上回った（前年比91.7%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
山形県	▲0.3	33.4	96.6	78.7	5.2倍	91.7

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資 …… 増加

2月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉、教育・学習支援などは増加したものの、製造業、農林水産などが減少したため、全体では5か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲29.8%）。3月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、2年連続で増加する計画（前年度比39.0%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
山形県	47.5	2.7倍	▲57.9	47.1	12.3	▲29.8

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2017年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度(実績)	2016年度(計画)	2017年度(計画)
全産業	▲9.8	15.5<▲8.4>	39.0
製造業	▲22.3	3.4<▲29.1>	2.1倍
非製造業	12.1	30.2<27.5>	▲28.1

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

2月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲2.4%）。

家電販売は、パソコン関連などが減少していることから、前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 4～6月	7～9月	10～12月	2016年 12月	2017年 1月	2月
全店	0.2	1.9	2.7	1.6	▲1.9	▲2.5
既存店	0.3	1.9	2.8	2.5	▲0.8	▲2.4

〈資料〉経済産業省

3月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、6か月連続で前年の水準を上回った（前年比7.5%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
乗用車 (含む軽)	▲2.4	▲2.0	18.6	4.3	5.0	7.5
乗用車 (除く軽)	10.3	2.8	16.3	6.9	8.3	12.6

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・増加

2月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は減少したものの、貸家は増加したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比2.9%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
山形県	6.0	▲6.1	▲7.6	6.2	▲26.6	2.9
持家	▲25.9	▲9.2	▲6.7	30.1	6.7	▲4.1
貸家	2.2倍	34.1	▲8.1	▲14.6	▲47.7	25.4
分譲	88.0	▲45.7	▲11.8	23.3	▲54.0	▲2.3

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月ぶりに上昇した（前月比1.4%）。業種別には、情報通信機械、食料品など13業種は低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品など9業種は上昇した。

1月の在庫指数（季節調整済）は、2か月連続で上昇した（前月比3.0%）。

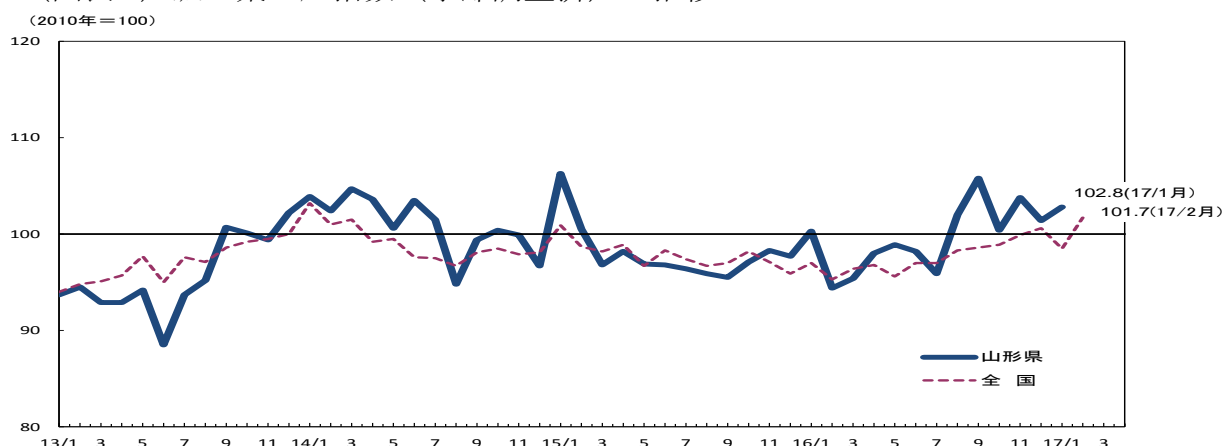
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
生 産	季節調整済前月比%	1.1	▲0.7	3.7	3.4	▲2.3	p 1.4
	原指数前年比%	▲1.1	0.5	11.5	6.6	2.8	p 3.4
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	▲2.8	▲1.5	▲0.8	1.3	p 3.0
	原指数前年比%	3.3	▲3.3	▲1.4	0.4	1.8	p 2.2

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

2月の有効求人倍率は、1.41倍となった。業種別には、製造業、卸・小売などの新規求人は増加したものの、宿泊・飲食、医療・福祉などは減少した。2月の雇用保険受給者は、10か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲10.7%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2016年 4～6月	7～9月	10～12月	2016年 12月	2017年 1月	2月
有効求人倍率	1.30	1.31	1.38	1.42	1.42	1.41
有効求職者数	〈▲6.0〉	〈▲6.2〉	〈▲4.7〉	〈▲4.7〉	〈▲6.2〉	〈▲7.3〉
有効求人数	〈1.0〉	〈2.6〉	〈11.2〉	〈11.2〉	〈10.4〉	〈7.5〉
完全失業率	2.8	2.2	1.9	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲5.6〉	〈▲6.6〉	〈▲3.1〉	〈▲3.1〉	〈▲4.5〉	〈▲10.7〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

1月の常用雇用指数は、5か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.3%）。業種別には、建設、教育・学習支援などは前年の水準を下回ったものの、生活関連サービス、運輸などは前年の水準を上回った。

1月の所定外労働時間は、7か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比0.4%）。業種別には、宿泊・飲食、運輸などは前年の水準を下回ったものの、建設、卸・小売などは前年の水準を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
常用雇用指数	0.5	▲0.2	0.1	0.5	0.8	0.3
所定外労働時間	1.9	3.9	▲3.7	▲4.4	▲6.1	0.4

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

1月の現金給与総額（名目賃金指数）は、運輸、生活関連サービスなどは減少したものの、医療・福祉、建設などは増加したため、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比3.2%）。

1月のきまって支給する給与は、19か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比0.9%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 11月	12月	2017年 1月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.2	0.7	0.1	▲1.4	0.1	3.2
きまって支給 する給与	▲0.4	▲1.6	▲1.5	▲1.9	▲1.4	0.9

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

3月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）、負債総額（4.2億円）とも前年（9件、20.0億円）を下回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
件数	4	5	2	1	2	4
負債総額	3.8	16.9	32.5	0.6	4.1	4.2

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

2月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.5%)。費目の内訳をみると、交通・通信、保健医療などは前年を下回ったものの、生鮮食品を除く食料、住居などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
総合	▲0.5	▲0.6	▲0.6	0.3	0.8	0.4
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲0.5	▲0.6	▲0.1	0.6	0.5

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.0%)。

2月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比3.1%)。

この間、2月の貸出金利は低下した(前月比▲0.001%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	1.3	1.2	1.0	0.9	0.4	1.0
貸出金 (末残前年比)	3.6	3.6	3.7	2.8	2.7	3.1

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 4~6月	7~9月	10~12月	2016年 12月	2017年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.038	▲0.020	▲0.015	▲0.006	▲0.003	▲0.001

2月末水準
1.093

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004